

エピソード143 忘れない

3月21日、三年生の子が、お世話になった先生方に手紙を渡していました。十人近くの先生方が並びました。

担当の子が手紙を渡すと、ある先生が「忘れないでね」と声をかけました。すると、その先生の担当以外の子も、口々に「忘れないよ」と、答えていました。

思い出も忘れません。手紙も宝物にします。